



地域に根ざした水土里ネット 二十一世紀土地改良区創造運動の推進

水土里ネット愛谷堰事務所長 菅波 孝光

水土里ネット愛谷堰は、愛谷用水路(全長18km)等を管理する受益面積433ha、組合員651名の土地改良区です。

区等にとつて、図らずも励みになっていると思われず。私達が、常に心がけていることは、組合員のための改良区であつて、組合員のためには最善を尽くすことである。

その結果として食料自給率を向上させようとする施策を私は評価する。TPPも、現在の輸出体系を世界の中で公平に競争させていくには参加すべきだと感じていた。



7/4に行われた「あじさい祭り」の様子。盛り上げた「創作ポスト」。

本庁各課の紹介

農村環境整備課は、農村環境整備を担っています。中山間総合整備事業や農地・水・環境保全向上対策を担う集落整備担当、農業集落排水事業やバイオマス等を担う集落排水担当、農道整備事業を担う農道整備担当です。



農村環境整備課長 豊田 裕

多くの事業が国の方針「コンパクトシティ」から人へのキャッチフレーズのもと予算が削減されました。そのような中で新たな手法による事業の推進が始まっております。

政の協働によつて「公共」を実現しようとするものです。そのひとつが「農地・水・環境保全向上対策」です。この対策は集落を最小単位として、農業者だけでなく多様な組織が参加する活動組織を立ち上げ、その地域の特徴を活かした、自らの創意工夫による活動計画を立て、農業施設や環境、景観を守る活動をするものです。

この対策も来年はステップアップすることになりました。環境以外の地域まで拡大し、新たに



農業基盤整備課



農業基盤整備課長 斎藤 忠弘

接関する基盤の整備を担当しており、3つの担当に各3名、副課長、課長の11名で構成されています。

な施設であるが、築立からかなりの年数が経過して老朽化により更新を必要とする施設も増加してまいりました。

「農空間」とは、農業の営み、それを支える農地や水、人々の生活、そして、美しい自然に囲まれ長い間に培われた伝統・文化などが溶けあつた空間のことです。

編集後記

新年明けましておめでとうございませう。本年もよろしくお願ひいたします。

農業農村フォトギャラリー

会津農林事務所

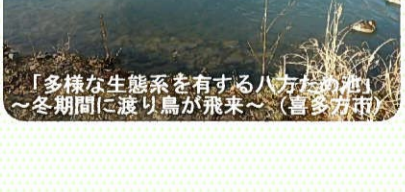
会津農林事務所では、各施設管理体制整備推進協議会の会員として、積極的に事業に関わり、農業水利施設の機能や多面的機能などその効果と関係者とともにPRしています。



「施設巡り健康ウォーク」～御用池分水邸を歩く～(会津美里町)



「水土里ウォークinきたかた」～暫しの休憩、原石山より日中ダムを望む～(喜多方市)



「多様な生態系を有する八方の池」～冬期間に渡り鳥が飛来～(喜多方市)



「新宮川ダムの見学会」～会津美里町上中川集落住民の監査員等見学～(会津美里町)



「親農業施設の点検の取組み」～ストックマネジメントに向けて～(喜多方市)